



2024

学校だより 本荘 Smile

令和6年度 最終52号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度も愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願ひ致します。【3学期エトセトラその1】



この写真は、熊本市教育委員会の学校訪問があった1月17日の様子です。4年生、5年生、6年生と井上先生が何かを一生懸命に話し合っています。後ろの女性は教育委員会の指導主事の先生です。この日は、高学年の合同授業、わくわく会議の様子を市教委の先生に見ていただきました。普通は、各担任の先生方の授業の様子を、1クラスずつ見ていただくのですが、本荘小はちがいます。学校規模のよさをいかして、こどもたちから出た学校の課題をみんなで話し合うということをやっていますので、ライブでその様子を見ていただいたのです。参加者全員が学校のよさ、課題について先生も交えて話し合うのです。こんな学校はそんなにあります。しかも、それを実生活に活かすことができている学校は本荘小を含め、指折り数えるほどだと自負しています。その様子を見て、市教委の先生方も大変感心しておられました。こどもたちは、気負うこともなく、威張ることもなく、普通に話し合っていました。それがまた、本荘小らしくてうれしかった校長先生なのでした。(校長)



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 最終53号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度も愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願致します。【3学期エトセトラその2】



来年度の創立150周年に向けて、5年生が中心となって記念の花時計をつくろうというプロジェクトを進めてきました。1月22日から工事が本格的に始まったのですが、5年生のみんながしっかりと手伝いに来てくれました。責任感のある行動でした。御覧の通り、専門業者の林田エクステリアさんに工事をさせていただきました。工事費用は熊本市のこども文化会館の夢体験事業に申し込みをしたところ、みごとに選ばれましたので、20万円の助成金をいただき、全額工費に充てていただきました。そして、林田エクステリアさんのご厚意によって、外側にレンガを装飾することになりました。そのレンガには、令和6年度の全校児童の名前が書いてあります。もちろん本人たちの直筆です。一人一人にとっての記念のレンガになります。5年生はレンガを積んで壁をつくる場所をお手伝いしました。円形の壁の内部に鉄筋を敷いて、地中から電気のケーブルも引いてコンクリートを流し込んでいただきました。花時計の表面にはプランターや鉢を置けるように穴もあけていただきました。大変丁寧な工事をしていただいたのです。今後は表面に記念のイラストを描いて完成させる工程が待っています。4月からが楽しみです。(校長)



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 最終 54号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度もご愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願ひ致します。【3学期エトセトラその3】



【合奏祭に向けて】

この写真は、1月24日の太鼓部の様子です。次の日はいよいよ合奏祭という日です。今年度の合奏祭は、私用があつて応援に行けなかつた校長先生でしたので、前日の練習に激励に行きました。その時の様子です。みんなやる気十分、気合十分でした。大変安心したものでした。本荘のこどもたちがいかに太鼓を好きなのかをひしひしと伝わってきました。私は音楽について全く素人なので、こどもたちの指導や演奏自体についてはわからないことも多いです。私はいいなあと思つても、指導の先生たちから見れば、まだまだのこともいっぱいありました。しかし、専門外でも感覚的にわかることもあります。それは、太鼓というものはシンプルだからこそ、こどもの気持ちがかもっているか、否かがはっきりしているということです。そのことはなんとなく、わかるような気がします。

当日の演奏はDVDで視聴したのですが、例年と同じく合奏祭のトップバッターです。まるでオープニングセレモニーのようでした。伝統を受け継ぐ中でこどもたちの学校へ思いは高まるものです。今後とも自分たちの太鼓を一生懸命に練習する本荘っ子たちであつてほしいなと思う校長先生でした。(校長)



2024

学校だより **本荘** Smile

令和6年度 最終 55号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度もご愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願致します。【3学期エトセトラその4】



【夢体験事業発表会】

ステージ上にずらっと並んだ5年生のみなさんたちです。2月「22日（土）に、53号で紹介した「花時計プロジェクト」の取組みをこども文化会館で発表してきたときの写真です。この日は、本荘小と泉ヶ丘小の2校のこどもたちが発表者としてやってきていました。KABのニュースでも少しだけ取り上げられたので、その時の様子が、テレビ局の動画サイトにまだ残ってありました。

泉ヶ丘小の6年生は、おとなりの動植物園をコマーシャルする映像をみんなで作って持ってきていました。6年生らしく立派な発表でした。本荘小は、150周年の記念になるものをつくりたいということから、工事会社の方と一生懸命に話し合っ、デザインを決め、一緒にお手伝いをしながら工事を進めたこと、最終デザインを決めて6年生になったら色を塗っていくことなどについて、プレゼン資料を使って発表していました。大変堂々とした発表ぶりであり、自分たちが自信をもってやったことは自信をもって発表できるものだと感じた校長先生でした。（校長）



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 最終 56号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度も愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願致します。【3学期エトセトラその5】



2月の学校朝会の時にも話題にしました、今年度の持久走大会のスナップです。この2月はすごく冷え込みましたね。毎日毎日寒い日が続いていました。持久走大会当日も、あまりに寒いので最初は体育館でオープニングを行ったほどでした。でも、こどもたちは寒い日々の中を毎日毎日朝から練習しておりました。そこにはこども一人一人の向上心と先生方の熱く、やさしいご指導があったからです。こどもは頑張りを認められるとそれまで以上の力を出します。その力は一発勝負の時もあれば、長く自分の力を継続したり、意欲を持続したりする場合もあるのです。特に、この持久走大会の練習は自分に負けない強い意志と粘り強く走ることができる持久力が必要になります。まわりの人たちがこどもたちの頑張りを「褒め、認め、励まし」てきたからこそその結果だったと言えるでしょう。

この大会は工夫がされていて、自分のタイムに合わせてスタート時間が決まります。簡単に言うと、10週走るのに10分かかる人は早めにスタートし、7分や6分で走ることができる人はその3分後にスタートするというものです。みんながゴールした後に一人で走るのはつらいもの。でも、このシステムは、スタートで調整しているのでゴールはデッドヒートになります。盛り上がるのです。これもこどもたちのことを心から考えている先生方がいるのでこういったアイデアが生まれてくるのです。だから、校長は本荘小学校が大好きなのです。(校長)



2024

学校だより **本荘** Smile

令和6年度 最終 57号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度も愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願致します。【3学期エトセトラその6】



3月16日(日)に、本校校区青少年健全育成協議会(通称 青少協)のイベントがありました。本当は地域の清掃活動とサンドイッチづくりだったのですが…、あいにくの雨襲来でした。そこで急遽「お世話になっている本荘小学校をきれいにしよう」という企画に変更されました。ですので、こどもたちは学校の中をきれいにすることになりました。しかしながら、急な変更で役割分担などはありません。そこで、校長先生からのミッションを伝えました。「校内のどこでもいい、誰とやってもよい、一人でしてもよい、きちんと元に戻すなら、どの道具を使ってもよい、とにかく、自分で考えて本荘小学校をきれいにしてくらん。」と言ったのです。たいいていの小学生は、困惑します。「えー、どうしたらいいの?」と不平を言うこともあるでしょう。本荘小学校のこどもたちはどうだったのでしょうか?答えは写真の通りです。1時間、参加した度のこどもらさけることなく、近くにいた大人に頼ることなく、掃除を自分の判断で続けたのです。ある程度、できると思っていたから出したミッションでしたが、こどもたちは予想以上の動きぶりや主体的な行動力を見せてくれました。これには、地域の方々もびっくりだったに違いありません。でも、こどもたちは平然と当たり前のような顔をして取り組んでいました。校長としてこんなうれしいことはありません。これからは、主体的な学びが大事になってくる世の中です。自分で思考し判断する。いくつかの選択肢の中から、他社と協働し、互いの意見に折り合いをつけたら問題を解決していく。そんなこどもたちの姿につながるイベントに高めたくれたのは、参加した本荘っ子たちです。校長先生自慢のこどもたちです。イベント終了後、みんなで手作りロールパンサンドをほおぼって、心もお腹も満足して終わったイベントになりました。しかし、こんなイベントができたのはちゃんと準備をしてくださった皆さんがいたからであることもちゃんと学んだこどもたちです。写真のように当日は多くの地域の方がこどもたちの行動力を見守ってくださいました。ありがとうございました。(校長)



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 最終 58号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度もご愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願ひ致します。【3学期エトセトラその7】



2月15日(土)は土曜授業で、なわとび大会でした。毎年のことなのですが、この大会はいいですね。子どもたちが本気になって取り組むので、必ず感動が生まれます。自分の記録との戦いの「短なわ」。そして、各学年の結束力が要求される「長なわ」。その両方を応援できるのですから、授業参観にも最適です。校長として見ていてうれしいものです。今まで、苦手でなかなか跳べなかったことも、練習の末にできるようになる感動。疲れて、もうやめてしまいたいのに、「まだまだ」と心の中で自分と闘いながら跳び続けていることも。長なわの練習では、クラスで設定した目標になかなか到達できず、時にはクラスの雰囲気も悪くなるようなこともあったりしたかもしれません。しかし、それを乗り越えてベスト記録を出せた学級。これまでは1週間できてきたのに当日は調子が悪かった学級。喜びと悔しさの中で子どもは育つのだということを実感しました。今年も、「がんばれ!」「負けるな、つよくなるんだ!!」そんな声かけをしたくなるようななわとび大会になりました。ありがとうございました。また、午後からはPTA主催のミニバレー大会で、子どもたちは心から体を動かすことを楽しんだ一日でした。そして、笑顔の中から本当の友情や助け合いが生まれるのです。そんな楽しい一日でした。(校長)



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 最終59号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度も愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願ひ致します。【3学期エトセトラその8】



3月7日(金)はお別れ遠足の日でした。この日は午前中が6年生とのお別れ会。その後二の丸公園まで出かけてみんなでお弁当を食べるといのが、本荘小のお別れ遠足です。しかしながら、この日は江原中学校の卒業式もあるので、毎年、感動の涙があふれるお別れ会に参加できずに寂しい思いをしている校長先生なのでした。でも、中学生も私が赴任した年の6年生が中学校で卒業するので、体が二つほしいくらいでした。でも、中学校でも感動の卒業式に来賓として参加できたことを大変うれしく思ったまま、二の丸公園に向かったのです。公園に着くと、こどもたちはたてわり班ごとに、遊びの真っ最中でした。こどもたちの笑顔があふれます。楽しそうなこと楽しそうなこと。こんなこどもの姿を見るのは、教師として最高にうれしいことです。それだけ、6年生とのお別れを大切に、こどもたちは参加をしていたのだと思います。また、この日は、写真でもおわकारの通り、とてもよい天気でした。少々か前が強く、肌寒さもありましたが、こんなよい景色の中で、おいしそうにお弁当を楽しみながら、みんなで遊ぶことができるとは、なんて素晴らしい一日だったのでしょうか。みんなの日頃の行いがよかったに違いありません。さらに、戻ってきた後は、太鼓部、総合運動部の卒部会もありました。6年生は、ここでも共に過ごした在校生とお別れをしなきゃいけません。楽しさと寂しさの両方を感じる一日になったのです。(校長)



2024

学校だより 本荘 Smile

令和6年度 最終 60号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度も愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願い致します。【3学期エトセトラその9】



今年度も、卒業式は素晴らしいものになりました。それは、本荘小学校の素晴らしさでもあるし、6年生と担任の先生の信頼感関係、これまで積み上げてきた友情や学びが結集しているからと言えます。さらに、今年度の卒業式では、子どもたちが、自らの将来を語りました。ただ単に「〇〇になりたい」ではなく、「将来、まわりの人たちの役に立つように、〇〇になって、その人たちを笑顔にしたい、幸せにしたい。」と語りました。これは、なかなか簡単にはできないことです。では、なぜ、6年生は自分を語る事ができたのか。それは、卒業前に「志の授業」の講師である岩山 泉先生から授業を受けていたことが大きく影響していると思っています。岩山さんはボランティアで「志」の大切さを授業しておられます。自分の将来を考え、「夢」をもつだけでなく、「志」をもって「誰かの役に立つために何かになる」と考えることのできる子どもを育てようとしてされています。岩山さんは授業の中で「夢は自分になりたいことだが、志は誰かのためにやろうとすること、だから、志を高くもつのです。」と語られました。そして、大谷選手、イチロー選手等を例に挙げて、その生き方の大切さを子どもたちに伝えてくださいました。6年生も大変感銘しながら聞いておりました。その結果、感動的な卒業式になったのだと思っています。令和7年度も予定しています。150周年記念イベントの一つとして考えていますので、ぜひ、ご期待ください。(校長)



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 最終 61号
令和7年3月31日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

今年度もご愛読ありがとうございました。そして、来年度もよろしくお願い致します。【その10】



ここにきて、今までの分を一気に書き出した感のある学校だよりです。でも、私の校長先生の虫眼鏡ノートには、これ以上の「伝えたいこと」がいっぱいあって、時間があれば、もっともっと出したいと思っています。来年度もがんばって出しますので、よろしく申し上げます。

明日からは4月がスタートします。仲間との悲しい別れを乗り越え、新しいメンバーとともに、新しい本荘小を創っていかうと考えています。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。

そして、毎年のことですが、年々1年間は「あっという間」に過ぎ去っていくように感じているところです。私は本校に赴任して5年目に入ろうとしています。R6年度も本荘小の子どもたち、先生方、保護者や地域の皆様と本当に楽しく、笑顔で過ごすことができました。とても、楽しい1年でした。元気いっぱいがんばる本荘っ子のステキな姿をたくさん見てきました。保護者・地域の皆様にも様々なところでご協力をいただきありがとうございました。R7年度は、150周年記念の年でもありますし、私自身にとっても節目の年になります。明日からまた、がんばっていきますので、よろしく申し上げます。(校長)